様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	関越自動車道　上越線（信濃町～上越ＪＣＴ）
事業主体	東日本高速道路株式会社

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝１．３ 経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝１，００３億円 経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝6.1%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
１．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	関越自動車道　上越線（信濃町～上越ＪＣＴ） 渋滞損失時間削減量：　2,608千人・時間/年 渋滞損失削減率：　0.04%削減
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	既存バス路線、ＪＲ新潟駅～ＪＲ長野駅の所要時間（当該区間一般道利用236分⇒当該区間高速利用200分　⇒36分短縮）
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	長野新幹線 長野駅～上越市の所要時間（当該区間一般道利用128分⇒当該区間高速利用92分　⇒36分短縮）
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	日本海側拠点港である直江津港～長野市の所要時間（当該区間一般道利用117分⇒当該区間高速利用90　⇒27分短縮）
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	長野市（地方生活圏中心都市）～上越市（地方生活圏中心都市）
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	長野市（地方生活圏中心都市）～上越市（地方生活圏中心都市）を最短時間で連絡
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	Ｈ24北信越かがやき総体　ハンドボール他
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	春日山城跡・林泉寺（上越市）年間観光客入込み数：52万人(H22)、海水浴場（上越市）年間観光客入込み数：65万人（H22） 高田公園（上越市）年間観光客入込み数：129万人（H22）、妙高高原温泉郷（妙高市）、年間観光入込み客数：62万人（H22）
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
２．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	第三次医療施設 新潟県立中央病院～妙高市関川地区（妙高支所） （当該区間一般道利用43分⇒当該区間高速利用31分　⇒12分短縮）

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	第一次緊急輸送路
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道18号　代替する区間（信濃町～上越ＪＣＴ）
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO_2排出削減量：　約-583ｔ/年、排出削減率：-0.0003%削減
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO_2排出削減量：　約-39t/年、排出削減率：-0.01%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出削減量：　約 1.2t/年、排出削減率：0.01%削減
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
関越自動車道 上越線	信濃町～ 上越JCT	L=38km	高速自動車国道	４車線化

計画交通量 （台/日）	車線数	事業主体
9,900～10,200	4	東日本高速道路 株式会社

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成２４年度		
単純合計	1,868億円	661億円	2,529億円
うち残事業分	295億円	360億円	654億円
基準年における 現在価値（C）	2,557億円	454億円	3,011億円
うち残事業分	252億円	122億円	374億円

② 便　益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合　　計
基 準 年	平成２４年度			
供 用 年	平成１１年度			
単年便益 （初年便益）	104億円	8億円	9億円	121億円
基準年における 現在価値（B）	3,451億円	271億円	292億円	4,013億円
うち残事業分	396億円	-18億円	16億円	394億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	1,003
経済的内部収益率（事業全体）	6.1%
費用便益比（残事業）	1.1
経済的純現在価値（残事業）	20
経済的内部収益率（残事業）	2.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	9,900～10,200	±１０％	0.9～1.2
事業費	295億円	±１０％	1.1～1
事業期間	6年間	±１年	1.1～1

様式－３①

交通状況の変化（事業全体）

事業名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設道路（信濃町～上越JCT）：37.5km		交通量※1	[台/日]	－	10,100
		走行時間※2	[分]	－	24
		走行時間費用※3	[億円/年]	－	52
②主な周辺道路※4	国道18号：39km	交通量	[台/日]	15,800	12,100
		走行時間	[分]	55	53
		走行時間費用	[億円/年]	172	124
	国道292号：31km	交通量	[台/日]	2,100	1,800
		走行時間	[分]	41	41
		走行時間費用	[億円/年]	20	17
	国道148号：44.1km	交通量	[台/日]	2,900	2,400
		走行時間	[分]	75	75
		走行時間費用	[億円/年]	46	37
	関越自動車道：167.5km	交通量	[台/日]	19,800	17,900
		走行時間	[分]	115	115
		走行時間費用	[億円/年]	480	429
	国道117号：80.6km	交通量	[台/日]	8,700	8,500
		走行時間	[分]	115	115
		走行時間費用	[億円/年]	223	218
	県63号上越新井線：14.3km	交通量	[台/日]	5,300	4,800
		走行時間	[分]	20	19
		走行時間費用	[億円/年]	20	18
③その他道路合計：34,903.9km		走行時間費用	[億円/年]	203,633	203,609

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：35,317.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	204,594	204,504	90

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

様式－３①

交通状況の変化（残事業）

事業名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

（推計時点　　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設道路（信濃町～上越JCT）：37.5km		交通量※1	[台/日]	8,900	10,100
		走行時間※2	[分]	28	24
		走行時間費用※3	[億円/年]	54	52
②主な周辺道路※4	国道18号：39km	交通量	[台/日]	12,400	12,100
		走行時間	[分]	53	53
		走行時間費用	[億円/年]	128	124
	国道292号：31km	交通量	[台/日]	1,900	1,800
		走行時間	[分]	41	41
		走行時間費用	[億円/年]	17	17
	国道148号：44.1km	交通量	[台/日]	2,400	2,400
		走行時間	[分]	75	75
		走行時間費用	[億円/年]	38	37
	関越自動車道：167.5km	交通量	[台/日]	18,100	17,900
		走行時間	[分]	115	115
		走行時間費用	[億円/年]	434	429
	国道117号：80.6km	交通量	[台/日]	8,500	8,500
		走行時間	[分]	115	115
		走行時間費用	[億円/年]	219	218
	県63号上越新井線：14.3km	交通量	[台/日]	4,800	4,800
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	18	18
③その他道路合計：34,903.9km		走行時間費用	[億円/年]	203,619	203,609

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：35,317.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	204,528	204,504	24

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：　関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		H24
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Ｑ－Ｖ式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Ｑ－Ｖ式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		■
		採用理由を記載	配分条件であるQV式に基づく配分交通量（日交通量）の走行速度を採用	
		その他（　　）		□

事業名：　関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）％
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
		算出根拠を添付すること		
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
		（考慮の場合、算出根拠を添付すること）		
	その他			

事業名:　関越自動車道上越線(信濃町～上越JCT)

(4)

<table>
<tr><th colspan="4">項目</th><th>チェック欄</th></tr>
<tr><td rowspan="11">費用の算定</td><td rowspan="3">事業費</td><td colspan="2">詳細事業計画による値を採用</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準投資パターンを採用</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他(　　)</td><td>□</td></tr>
<tr><td>維持管理費</td><td colspan="3">維持管理費の設定根拠を記載
実績値をもとに設定</td></tr>
<tr><td>雪寒費</td><td colspan="2">積雪地域または寒冷地域である</td><td>□</td></tr>
<tr><td rowspan="5">当該道路整備が行われない場合の費用</td><td colspan="2">考慮しない</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">考慮する</td><td>■</td></tr>
<tr><td rowspan="3">考慮する場合のみ</td><td>事業費を考慮</td><td>■</td></tr>
<tr><td>維持管理費を考慮</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)
2車線構造継続の際に生じる安全対策費(159億円)を控除している</td></tr>
<tr><td colspan="4">その他
維持管理費には雪氷作業費を含んでいる</td></tr>
</table>

4．その他

様式－４

費用の現在価値算定表 （事業全体）

維持管理費の単純単価の算出

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
－	L=38km	－

箇所名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
-10年目	H 1	2.4647	112.8	3	7		
-9年目	H 2	2.3699	115.3	9	19		
-8年目	H 3	2.2788	118.3	42	81		
-7年目	H 4	2.1911	120.0	67	122		
-6年目	H 5	2.1068	120.7	119	208		
-5年目	H 6	2.0258	120.4	154	259		
-4年目	H 7	1.9479	119.5	179	292		
-3年目	H 8	1.8730	119.0	228	359		
-2年目	H 9	1.8009	120.0	229	344		
-1年目	H 10	1.7317	119.5	228	331		
暫定供用開始年次	H 11	1.6651	117.8	140	198	10	15
1年目	H 12	1.6010	116.5	2	3	11	15
2年目	H 13	1.5395	114.9	1	1	11	14
3年目	H 14	1.4802	112.8	2	3	11	14
4年目	H 15	1.4233	111.2	2	3	11	14
5年目	H 16	1.3686	109.8			11	14
6年目	H 17	1.3159	108.3			11	14
7年目	H 18	1.2653	107.3			11	14
8年目	H 19	1.2167	106.1			12	13
9年目	H 20	1.1699	105.2			12	13
10年目	H 21	1.1249	103.9	2	2	12	13
11年目	H 22	1.0816	102.0	2	2	12	13
12年目	H 23	1.0400	100.0			13	13
13年目	H 24	1.0000	100.0	7	7	13	13
14年目	H 25	0.9615	100.0	9	9	13	13
15年目	H 26	0.9246	100.0	38	35	13	12
16年目	H 27	0.8890	100.0	107	95	13	12
17年目	H 28	0.8548	100.0	117	100	14	12
18年目	H 29	0.8219	100.0	113	93	14	11
完成供用開始年次	H 30	0.7903	100.0	67	53	14	11
20年目	H 31	0.7599	100.0			14	11
21年目	H 32	0.7307	100.0			14	10
22年目	H 33	0.7026	100.0			14	10
23年目	H 34	0.6756	100.0			14	10
24年目	H 35	0.6496	100.0			14	9
25年目	H 36	0.6246	100.0			14	9
26年目	H 37	0.6006	100.0			14	9
27年目	H 38	0.5775	100.0			14	8
28年目	H 39	0.5553	100.0			14	8
29年目	H 40	0.5339	100.0			14	8
30年目	H 41	0.5134	100.0			14	7
31年目	H 42	0.4936	100.0			14	7
32年目	H 43	0.4746	100.0			14	7
33年目	H 44	0.4564	100.0			14	6
34年目	H 45	0.4388	100.0			14	6
35年目	H 46	0.4220	100.0			14	6
36年目	H 47	0.4057	100.0			14	6
37年目	H 48	0.3901	100.0			14	5
38年目	H 49	0.3751	100.0			14	5
39年目	H 50	0.3607	100.0			14	5
40年目	H 51	0.3468	100.0			14	5
41年目	H 52	0.3335	100.0			14	5
42年目	H 53	0.3207	100.0			14	4
43年目	H 54	0.3083	100.0			14	4
44年目	H 55	0.2965	100.0			14	4
45年目	H 56	0.2851	100.0			14	4
46年目	H 57	0.2741	100.0			14	4
47年目	H 58	0.2636	100.0			14	4
48年目	H 59	0.2534	100.0			14	3
49年目	H 60	0.2437	100.0	-275	-67	14	3
合 計				1,593	2,557	661	454

単純事業費計	1,868	661

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表 （残事業）

維持管理費の単純単価の算出

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
－	L=38km	－

箇所名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
-21年目	H 10	1.6651	119.5				
-20年目	H 11	1.6010	117.8				
-19年目	H 12	1.5395	116.5				
-18年目	H 13	1.4802	114.9				
-17年目	H 14	1.4233	112.8				
-16年目	H 15	1.3686	111.2				
-15年目	H 16	1.3686	109.8				
-14年目	H 17	1.3159	108.3				
-13年目	H 18	1.2653	107.3				
-12年目	H 19	1.2167	106.1				
-11年目	H 20	1.1699	105.2				
-10年目	H 21	1.1249	103.9				
-9年目	H 22	1.0816	102.0				
-8年目	H 23	1.0400	100.0				
-7年目	H 24	1.0000	100.0				
-6年目	H 25	0.9615	100.0	6	6		
-5年目	H 26	0.9246	100.0	25	23		
-4年目	H 27	0.8890	100.0	70	62		
-3年目	H 28	0.8548	100.0	76	65		
-2年目	H 29	0.8219	100.0	74	61		
-1年目	H 30	0.7903	100.0	44	35		
完成供用開始年次	H 31	0.7599	100.0			7	5
1年目	H 32	0.7307	100.0			7	5
2年目	H 33	0.7026	100.0			7	5
3年目	H 34	0.6756	100.0			7	5
4年目	H 35	0.6496	100.0			7	5
5年目	H 36	0.6246	100.0			7	4
6年目	H 37	0.6006	100.0			7	4
7年目	H 38	0.5775	100.0			7	4
8年目	H 39	0.5553	100.0			7	4
9年目	H 40	0.5339	100.0			7	4
10年目	H 41	0.5134	100.0			7	4
11年目	H 42	0.4936	100.0			7	4
12年目	H 43	0.4746	100.0			7	3
13年目	H 44	0.4564	100.0			7	3
14年目	H 45	0.4388	100.0			7	3
15年目	H 46	0.4220	100.0			7	3
16年目	H 47	0.4057	100.0			7	3
17年目	H 48	0.3901	100.0			7	3
18年目	H 49	0.3751	100.0			7	3
19年目	H 50	0.3607	100.0			7	3
20年目	H 51	0.3468	100.0			7	2
21年目	H 52	0.3335	100.0			7	2
22年目	H 53	0.3207	100.0			7	2
23年目	H 54	0.3083	100.0			7	2
24年目	H 55	0.2965	100.0			7	2
25年目	H 56	0.2851	100.0			7	2
26年目	H 57	0.2741	100.0			7	2
27年目	H 58	0.2636	100.0			7	2
28年目	H 59	0.2534	100.0			7	2
29年目	H 60	0.2437	100.0			7	2
30年目	H 61	0.2343	100.0			7	2
31年目	H 62	0.2253	100.0			7	2
32年目	H 63	0.2166	100.0			7	2
33年目	H 64	0.2083	100.0			7	1
34年目	H 65	0.2003	100.0			7	1
35年目	H 66	0.1926	100.0			7	1
36年目	H 67	0.1852	100.0			7	1
37年目	H 68	0.1780	100.0			7	1
38年目	H 69	0.1712	100.0			7	1
39年目	H 70	0.1646	100.0			7	1
40年目	H 71	0.1583	100.0			7	1
41年目	H 72	0.1522	100.0			7	1
42年目	H 73	0.1463	100.0			7	1
43年目	H 74	0.1407	100.0			7	1
44年目	H 75	0.1353	100.0			7	1
45年目	H 76	0.1301	100.0			7	1
46年目	H 77	0.1251	100.0			7	1
47年目	H 78	0.1203	100.0			7	1
48年目	H 79	0.1157	100.0			7	1
49年目	H 80	0.1112	100.0			7	1
合 計				295	252	360	122

単純事業費計	295	360

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表 （事業全体）

箇所名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

年次	年度（基準年）H24	総走行台キロの年次別伸び率（関東内陸+北陸ブロック） 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車	割戻率 (A)	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合 計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	H 11	1.01028	0.98391	0.99353	1.00276	1.6651	117.8261	48	16	41	104	147	6	1	1	8	11	9	12	121	171
1年目	H 12	1.01018	0.98364	0.99349	1.00275	1.6010	116.5217	48	15	41	104	143	6	1	1	8	11	9	12	121	166
2年目	H 13	1.01008	0.98337	0.99344	1.00275	1.5395	114.8913	48	15	41	104	140	6	1	1	8	11	9	12	121	162
3年目	H 14	1.00998	0.98309	0.99340	1.00274	1.4802	112.8261	49	15	40	104	137	6	1	1	8	11	9	11	121	159
4年目	H 15	1.00988	0.98280	0.99336	1.00273	1.4233	111.1957	49	15	40	104	133	6	1	1	8	10	9	11	121	155
5年目	H 16	1.00978	0.98250	0.99331	1.00272	1.3686	109.7826	50	14	40	104	130	6	1	1	8	10	9	11	121	151
6年目	H 17	0.99599	0.98919	0.99253	0.99434	1.3159	108.2609	50	14	39	103	126	6	1	1	8	10	9	11	120	146
7年目	H 18	0.99597	0.98907	0.99247	0.99431	1.2653	107.2826	50	14	39	103	121	6	1	1	8	10	9	10	120	141
8年目	H 19	0.99596	0.98895	0.99242	0.99428	1.2167	106.0870	49	14	39	102	117	6	1	1	8	9	9	10	119	136
9年目	H 20	0.99594	0.98883	0.99236	0.99424	1.1699	105.2174	49	14	39	101	113	6	1	1	8	9	9	10	118	131
10年目	H 21	0.99593	0.98870	0.99230	0.99421	1.1249	103.9130	49	14	38	101	109	6	1	1	8	9	9	9	117	127
11年目	H 22	0.99591	0.98857	0.99224	0.99418	1.0816	101.9565	49	13	38	100	106	6	1	1	8	8	9	9	117	124
12年目	H 23	0.99589	0.98844	0.99217	0.99414	1.0400	100.0000	49	13	38	100	103	6	1	1	8	8	8	9	116	120
13年目	H 24	0.99587	0.98831	0.99211	0.99411	1.0000	100.0000	48	13	37	99	99	6	1	1	8	8	8	8	115	115
14年目	H 25	0.99586	0.98817	0.99206	0.99408	0.9615	100.0000	48	13	37	98	94	6	1	1	8	7	8	8	114	110
15年目	H 26	0.99584	0.98802	0.99199	0.99404	0.9246	100.0000	48	13	37	98	90	6	1	1	8	7	8	8	114	105
16年目	H 27	0.99582	0.98788	0.99192	0.99400	0.8890	100.0000	48	13	36	97	86	6	1	1	8	7	8	7	113	100
17年目	H 28	0.99581	0.98773	0.99186	0.99397	0.8548	100.0000	48	13	36	96	82	6	1	1	8	7	8	7	112	96
18年目	H 29	0.99578	0.98758	0.99179	0.99393	0.8219	100.0000	47	12	36	96	79	6	1	1	8	6	8	7	111	91
19年目	H 30	0.99577	0.98742	0.99173	0.99390	0.7903	100.0000	47	12	36	95	75	6	1	1	8	6	8	6	111	87
完成供用開始年次	H 31	0.99575	0.98726	0.99165	0.99386	0.7599	100.0000	47	12	35	94	72	6	1	1	7	6	8	6	110	83
21年目	H 32	0.99717	0.98936	0.99515	0.99565	0.7307	100.0000	47	12	35	94	69	6	1	1	7	5	8	6	109	80
22年目	H 33	0.99716	0.98924	0.99512	0.99563	0.7026	100.0000	47	12	35	93	66	6	1	1	7	5	8	6	109	76
23年目	H 34	0.99715	0.98912	0.99510	0.99562	0.6756	100.0000	47	12	35	93	63	6	1	1	7	5	8	5	108	73
24年目	H 35	0.99715	0.98900	0.99508	0.99560	0.6496	100.0000	46	12	35	93	60	6	1	1	7	5	8	5	108	70
25年目	H 36	0.99714	0.98888	0.99505	0.99558	0.6246	100.0000	46	11	34	92	58	6	1	1	7	5	8	5	107	67
26年目	H 37	0.99713	0.98876	0.99503	0.99556	0.6006	100.0000	46	11	34	92	55	6	1	1	7	4	8	5	107	64
27年目	H 38	0.99712	0.98863	0.99501	0.99554	0.5775	100.0000	46	11	34	91	53	6	1	1	7	4	8	5	106	61
28年目	H 39	0.99712	0.98850	0.99498	0.99552	0.5553	100.0000	46	11	34	91	50	6	1	1	7	4	8	4	106	59
29年目	H 40	0.99710	0.98836	0.99496	0.99550	0.5339	100.0000	46	11	34	90	48	6	1	1	7	4	8	4	105	56
30年目	H 41	0.99710	0.98823	0.99493	0.99548	0.5134	100.0000	46	11	34	90	46	6	1	1	7	4	8	4	105	54
31年目	H 42	0.99087	0.99360	1.00168	0.99262	0.4936	100.0000	45	11	34	90	44	6	1	1	7	4	8	4	104	51
32年目	H 43	0.99079	0.99356	1.00168	0.99257	0.4746	100.0000	45	11	34	89	42	6	1	1	7	3	8	4	104	49
33年目	H 44	0.99070	0.99352	1.00168	0.99251	0.4564	100.0000	44	11	34	89	40	6	1	1	7	3	8	3	103	47
34年目	H 45	0.99061	0.99347	1.00167	0.99245	0.4388	100.0000	44	11	34	88	39	5	1	1	7	3	7	3	103	45
35年目	H 46	0.99052	0.99343	1.00167	0.99239	0.4220	100.0000	44	10	34	88	37	5	1	1	7	3	7	3	102	43
36年目	H 47	0.99043	0.99339	1.00166	0.99234	0.4057	100.0000	43	10	34	87	35	5	1	1	7	3	7	3	102	41
37年目	H 48	0.99034	0.99335	1.00166	0.99228	0.3901	100.0000	43	10	34	87	34	5	1	1	7	3	7	3	101	39
38年目	H 49	0.99024	0.99330	1.00166	0.99222	0.3751	100.0000	42	10	34	87	32	5	1	1	7	3	7	3	101	38
39年目	H 50	0.99015	0.99325	1.00166	0.99216	0.3607	100.0000	42	10	34	86	31	5	1	1	7	2	7	3	100	36
40年目	H 51	0.99005	0.99321	1.00165	0.99209	0.3468	100.0000	41	10	34	86	30	5	1	1	7	2	7	2	99	34
41年目	H 52	0.98995	0.99316	1.00165	0.99203	0.3335	100.0000	41	10	34	85	28	5	1	1	7	2	7	2	99	33
42年目	H 53	0.98985	0.99312	1.00165	0.99197	0.3207	100.0000	41	10	34	85	27	5	1	1	7	2	7	2	98	32
43年目	H 54	0.98975	0.99307	1.00165	0.99190	0.3083	100.0000	40	10	34	84	26	5	1	1	6	2	7	2	98	30
44年目	H 55	0.98964	0.99303	1.00164	0.99184	0.2965	100.0000	40	10	34	84	25	5	1	1	6	2	7	2	97	29
45年目	H 56	0.98953	0.99297	1.00164	0.99177	0.2851	100.0000	39	10	34	84	24	5	1	1	6	2	7	2	97	28
46年目	H 57	0.98942	0.99292	1.00164	0.99170	0.2741	100.0000	39	10	34	83	23	5	1	1	6	2	7	2	96	26
47年目	H 58	0.98930	0.99287	1.00164	0.99163	0.2636	100.0000	39	10	35	83	22	5	1	1	6	2	7	2	96	25
48年目	H 59	0.98919	0.99282	1.00163	0.99156	0.2534	100.0000	38	10	35	82	21	5	1	1	6	2	7	2	95	24
49年目	H 60	0.98907	0.99277	1.00163	0.99149	0.2437	100.0000	38	9	35	82	20	5	1	1	6	1	7	2	95	23
合 計								2,267	594	1,794	4,654	3,451	282	50	33	365	271	393	292	5,412	4,013

様式－５

便益の現在価値算定表 （残事業）

箇所名：関越自動車道上越線（信濃町～上越JCT）

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（関東内陸+北陸ブロック）				割戻率	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計（億円）	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 31	0.99575	0.98726	0.99165	0.99386	0.7599	100.0000	14	3	8	25	19	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	19
1年目	H 32	0.99717	0.98936	0.99515	0.99565	0.7307	100.0000	14	3	8	25	18	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	18
2年目	H 33	0.99716	0.98924	0.99512	0.99563	0.7026	100.0000	14	3	8	25	18	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	18
3年目	H 34	0.99715	0.98912	0.99510	0.99562	0.6756	100.0000	14	3	8	25	17	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	17
4年目	H 35	0.99715	0.98900	0.99508	0.99560	0.6496	100.0000	14	3	8	25	16	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	16
5年目	H 36	0.99714	0.98888	0.99505	0.99558	0.6246	100.0000	14	3	8	25	15	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	16
6年目	H 37	0.99713	0.98876	0.99503	0.99556	0.6006	100.0000	14	3	8	25	15	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	15
7年目	H 38	0.99712	0.98863	0.99501	0.99554	0.5775	100.0000	14	3	8	25	14	1	-0	-2	-1	-1	1	1	25	14
8年目	H 39	0.99712	0.98850	0.99498	0.99552	0.5553	100.0000	14	3	8	24	14	1	-0	-2	-1	-1	1	1	24	14
9年目	H 40	0.99710	0.98836	0.99496	0.99550	0.5339	100.0000	13	3	8	24	13	1	-0	-2	-1	-0	1	1	24	13
10年目	H 41	0.99710	0.98823	0.99493	0.99548	0.5134	100.0000	13	3	8	24	12	1	-0	-2	-1	-0	1	1	24	12
11年目	H 42	0.99087	0.99360	1.00168	0.99262	0.4936	100.0000	13	3	8	24	12	1	-0	-2	-1	-0	1	0	24	12
12年目	H 43	0.99079	0.99356	1.00168	0.99257	0.4746	100.0000	13	3	8	24	11	1	-0	-2	-1	-0	1	0	24	11
13年目	H 44	0.99070	0.99352	1.00168	0.99251	0.4564	100.0000	13	3	8	24	11	1	-0	-2	-1	-0	1	0	24	11
14年目	H 45	0.99061	0.99347	1.00167	0.99245	0.4388	100.0000	13	3	8	24	10	1	-0	-2	-1	-0	1	0	24	10
15年目	H 46	0.99052	0.99343	1.00167	0.99239	0.4220	100.0000	13	3	8	24	10	1	-0	-2	-1	-0	1	0	24	10
16年目	H 47	0.99043	0.99339	1.00166	0.99234	0.4057	100.0000	13	3	8	23	10	1	-0	-2	-1	-0	1	0	23	9
17年目	H 48	0.99034	0.99335	1.00166	0.99228	0.3901	100.0000	13	3	8	23	9	1	-0	-2	-1	-0	1	0	23	9
18年目	H 49	0.99024	0.99330	1.00166	0.99222	0.3751	100.0000	12	3	8	23	9	1	-0	-2	-1	-0	1	0	23	9
19年目	H 50	0.99015	0.99325	1.00166	0.99216	0.3607	100.0000	12	3	8	23	8	1	-0	-2	-1	-0	1	0	23	8
20年目	H 51	0.99005	0.99321	1.00165	0.99209	0.3468	100.0000	12	3	8	23	8	1	-0	-2	-1	-0	1	0	23	8
21年目	H 52	0.98995	0.99316	1.00165	0.99203	0.3335	100.0000	12	3	8	23	8	1	-0	-2	-1	-0	1	0	23	8
22年目	H 53	0.98985	0.99312	1.00165	0.99197	0.3207	100.0000	12	3	8	23	7	1	-0	-2	-1	-0	1	0	22	7
23年目	H 54	0.98975	0.99307	1.00165	0.99190	0.3083	100.0000	12	3	8	23	7	1	-0	-2	-1	-0	1	0	22	7
24年目	H 55	0.98964	0.99303	1.00164	0.99184	0.2965	100.0000	12	3	8	22	7	1	-0	-2	-1	-0	1	0	22	7
25年目	H 56	0.98953	0.99297	1.00164	0.99177	0.2851	100.0000	12	3	8	22	6	1	-0	-2	-1	-0	1	0	22	6
26年目	H 57	0.98942	0.99292	1.00164	0.99170	0.2741	100.0000	11	3	8	22	6	1	-0	-2	-1	-0	1	0	22	6
27年目	H 58	0.98930	0.99287	1.00164	0.99163	0.2636	100.0000	11	3	8	22	6	1	-0	-2	-1	-0	1	0	22	6
28年目	H 59	0.98919	0.99282	1.00163	0.99156	0.2534	100.0000	11	3	8	22	6	1	-0	-2	-1	-0	1	0	22	5
29年目	H 60	0.98907	0.99277	1.00163	0.99149	0.2437	100.0000	11	3	8	22	5	1	-0	-2	-1	-0	1	0	21	5
30年目	H 61	0.98895	0.99271	1.00163	0.99142	0.2343	100.0000	11	3	8	22	5	1	-0	-2	-1	-0	1	0	21	5
31年目	H 62	0.98883	0.99266	1.00163	0.99134	0.2253	100.0000	11	3	8	22	5	1	-0	-2	-1	-0	1	0	21	5
32年目	H 63	0.98870	0.99261	1.00162	0.99127	0.2166	100.0000	11	2	8	21	5	1	-0	-2	-1	-0	1	0	21	5
33年目	H 64	0.98857	0.99255	1.00162	0.99119	0.2083	100.0000	11	2	8	21	4	1	-0	-2	-1	-0	1	0	21	4
34年目	H 65	0.98844	0.99250	1.00162	0.99111	0.2003	100.0000	10	2	8	21	4	1	-0	-2	-1	-0	1	0	21	4
35年目	H 66	0.98830	0.99244	1.00162	0.99103	0.1926	100.0000	10	2	8	21	4	1	-0	-2	-1	-0	1	0	21	4
36年目	H 67	0.98817	0.99238	1.00161	0.99095	0.1852	100.0000	10	2	8	21	4	1	-0	-2	-1	-0	1	0	20	4
37年目	H 68	0.98802	0.99232	1.00161	0.99087	0.1780	100.0000	10	2	8	21	4	1	-0	-2	-1	-0	1	0	20	4
38年目	H 69	0.98788	0.99226	1.00161	0.99078	0.1712	100.0000	10	2	8	21	4	1	-0	-2	-1	-0	1	0	20	3
39年目	H 70	0.98773	0.99220	1.00161	0.99070	0.1646	100.0000	10	2	8	20	3	1	-0	-2	-1	-0	1	0	20	3
40年目	H 71	0.98758	0.99214	1.00160	0.99061	0.1583	100.0000	10	2	8	20	3	1	-0	-2	-1	-0	1	0	20	3
41年目	H 72	0.98742	0.99208	1.00160	0.99052	0.1522	100.0000	10	2	8	20	3	1	-0	-2	-1	-0	1	0	20	3
42年目	H 73	0.98726	0.99202	1.00160	0.99043	0.1463	100.0000	10	2	8	20	3	1	-0	-2	-1	-0	1	0	20	3
43年目	H 74	0.98710	0.99195	1.00160	0.99034	0.1407	100.0000	9	2	8	20	3	1	-0	-2	-1	-0	1	0	19	3
44年目	H 75	0.98693	0.99189	1.00159	0.99024	0.1353	100.0000	9	2	8	20	3	1	-0	-2	-1	-0	1	0	19	3
45年目	H 76	0.98676	0.99182	1.00159	0.99015	0.1301	100.0000	9	2	8	20	3	1	-0	-2	-1	-0	1	0	19	2
46年目	H 77	0.98658	0.99175	1.00159	0.99005	0.1251	100.0000	9	2	8	20	2	1	-0	-2	-1	-0	1	0	19	2
47年目	H 78	0.98640	0.99169	1.00159	0.98995	0.1203	100.0000	9	2	8	19	2	1	-0	-2	-1	-0	1	0	19	2
48年目	H 79	0.98621	0.99162	1.00158	0.98985	0.1157	100.0000	9	2	8	19	2	1	-0	-2	-1	-0	1	0	19	2
49年目	H 80	0.98601	0.99155	1.00158	0.98974	0.1112	100.0000	9	2	8	19	2	1	-0	-2	-1	-0	1	0	19	2
合 計								578	133	406	1,117	396	44	-0	-100	-56	-18	44	16	1,104	394